



会社も学校も
「リモート」が
推奨され

気軽に人に
合えない世界



クラスメイトたちは
今日も画面の中で
嘆いている

寂しい

誰か構ってくれ
って



……でも
申し訳ないが
俺は違う

うんっ!!

クラスの
美少女と

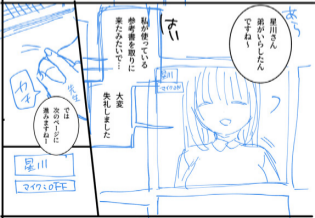
どうしようかと
いうと……

同居して
いるからだ



ごめんね
吉野くん

あーあ



色味が薄くて
サラサラの髪

白くて
すべすべの肌

吸い込まれそうな
大きな瞳

そして…

外では
マスクに隠されて
見ることもできない

花びらのような
唇

彼女の名は
星川通

旧家の出の
お嬢様だとか
噂される

学年主席の
超優秀生

そして
クラス一の
美少女だ

日に十回も
告白されて
いたとか

彼女にしたい
ランキング
連続一位だとかの
有名人で

俺・高野叶多は
遠巻きに見ていた
一人ではなかった

…だから

すぐ
隣にいるのが

未だに
信じられないん
だよなあ…

でもなんで
太ももを
触ってきたんだ…!?
どうかした?
またパソコンに
何かあったとか?

う…
うん

あれ?

!

笑ってる!!?

さっきまで調子が
変だったのに…
あれ?

まさか…
いや
もしかして

えっと…
パソコンの調子が

触れられて
慌てる
俺の反応を見て

どれ?

んー

操作が上手く
いかなかったんだけど…
直ったかも?

楽しんでるのガ?

…そっか
ならよかったよ

…困った
ボダイタッチとか
気軽にするものじゃ
ないって

俺がもっと
煩惱の塊みたいな
やつだったら…

今頃こんな

余裕に満ちた

顔なんて

してられないぞ

押し倒は

俺が紳士だった
ことに感謝
してほし…

んぬっ!?

スカートが
めくれて…

ふとももが
見える